

日本気象学会誌 **気象集誌****第II輯 第76巻 第1号 1998年2月**

- 植田宏昭・安成哲三：ベンガル湾及び南シナ海上の夏季モンスーンの早期開始におけるチベット高原の温度上昇の役割 ……………1-12
- 箕浦宏明・美澤史帆・岩坂泰信：名古屋近郊域降水中に含まれるイオン濃度の季節変化：地域汚染と黄砂・台風等で長距離輸送されたイオンが雨水中のイオン濃度に与える影響 ……………13-27
- Brian E. Mapes：熱帯のメソスケール対流システムによる大規模循環：線形鉛直スペクトルバンドモデル ……………29-55
- 田 少奮・安成哲三：華中における春の長雨の気候学的特徴とそのメカニズム ……………57-71
- Matthias Steiner・Robert A. Houze Jr.：サンプリング頻度に対する三次元レーダーエコーの月平均特性の感度 ……………73-95
- 加藤輝之：1993年8月1日に南九州で発生したライン状豪雨の数値シミュレーション ……………97-128
- Jong-Jin Baik and Jong-Su Paek：北西太平洋上の海面水温と台風最大強度の気候値について ……………129-137

要報と質疑

- 小寺邦彦・杉 正人・川村隆一・小出 寛：大気大循環モデルにより明らかにされた近年の冬期循環場の急激な変化の特徴 ……………139-144
- 黒田賢俊・原田 朗・遠峰菊郎：台風強度の海面水温に対する依存度について ……………145-151
- 学会誌「天気」の論文・解説リスト（1997年11月号・12月号） ……………153